

山野地区防犯パトロール隊（鹿児島県）

活動地域と団体の概要

皆様、こんにちは。鹿児島県伊佐市から参りました山野地区防犯パトロール隊と申します。しばらくの間、お付き合いよろしくお願ひします。

早速、地域紹介をさせていただきます。私たちの住む鹿児島県伊佐市は、北は熊本県、東は宮崎県に隣接した標高 1,000 メートルの山々に囲まれた盆地です。近くには、東洋のナイアガラと呼ばれる曾木(そぎ)の滝や十曾青少年旅行村があります。水と緑と星空の観光のまちとなっております。しかし、昼夜の寒暖の差が激しく、冬はとても寒いことから鹿児島県の北海道とも呼ばれています。しかし、この寒い気候は、おいしい伊佐米や野菜を育ててくれます。

このような農村のまちに、子供を守る、子供を守る、子お守り(コウモリ)と、ちょっとしゃれてみましたけども、このバットマンマーク、コウモリマークがトレードマークの山野地区防犯パトロール隊があります。テーマは子供たちやお年寄りを交通事故、犯罪から守ろうということです。

このような農村のまちに、子供を守る、子供を守る、子お守り(コウモリ)と、ちょっとしゃれてみましたけども、このバットマンマーク、コウモリマークがトレードマークの山野地区防犯パトロール隊があります。テーマは子供たちやお年寄りを交通事故、犯罪から守ろうということです。

会の発足は、平成 20 年 2 月です。当初、隊員 50 人、青パト 1 台でスタートしました。鹿児島県伊佐市では、一番最初にパトロール隊を立ち上げた地域です。その後、見直しや改善を致しまして、現在は隊員 32 人、青パト 4 台で活動しております。活動の範囲ですが、自治会数が 28 あります。小学校、中学校の生徒数は合わせて約 200 人。登下校のコースは約 30 キロもあります。したがって、パトロールに約 1 時間を要します。



活動の概要

我々の活動には、四つの柱があります。一つは青パト隊による活動、二つ目は立哨と見守りカメラによる活動、三つ目が、我々の一番の特徴である子ども見守り駐在所の存在、そして四つ目が「青パトタイムス」の発行です。

まず最初に青パト隊による活動です。これは警察の青パト講習を受け、パトロール実施者証を所持している12人が担当しております。毎週、月火水の登校時、火木の下校時にパトロールしておりますが、何しろ観光地が控えてる関係で、夏のシーズンになりますと、特にキャンプ場のパトロールがあります。それから、サルやシカなどが出没しますので、そのときも出動します。その上、地域のイベントにおけるパトロールというように多くの活動があります。

さらに、青パト隊は、防犯パトロール以外にも危険箇所のチェックという活動もしています。私たちのまちでは、道路脇にはえた竹やぶのせいで見通しが悪くなり、下の畑に車が落ちたり、出会い頭に急に運転を誤って竹やぶに飛び込むという事故が非常に多く発生しています。そこで、我々は竹を伐採し、かかしを立てました。このかかしが名所化しまして有名になりました。

ドキッとするとかブレーキを踏むようになったと地元でもちょっと有名になったものから、少し調子に乗りまして、かかしに衣装替えをするようになりました。結構楽しいものです。1月は正月用のかかしです。子供だけじゃなくてお母さんもおります。新学期になりますと、学生服を来た兄弟や時々、お侍さんが立ったりします。お侍さんが交通事故防止を呼び掛けたりして、とてもユニークな広報活動を行っております。

このほか老人会や地域イベントに参加して、我々はマジックや踊りを披露しております。また、お年寄りとのふれあい。例えば、昔語り、昔遊び、子供と一緒にのグランドゴルフ、竹トンボ作り、工作教室、多くの催しものをしております。なぜ、こういう活動を青

活動の4つの柱

1. 青パト隊による巡回活動
2. 立哨と見守りカメラによる指導
3. 子ども見守り駐在所の存在
4. 青パトタイムスの発行



青パト隊による活動

青パト講習を受けた者(許可証)が担当

毎週 月・水・金の登校時
火・木の下校時

- (1) 朝6:30~7:30
- (2) 夕3:00~5:00



観光地の夏のパトロール(夜)
猿、鹿などの出没時
イベント時のパトロール

こんな活動もあります！

登下校コースの危険箇所チェックを行い対策を実施



竹藪伐採
案山子を立てる



老人会や地域イベント参加

年寄りと子供のふれあい



パト隊がしているのかといいますと、その理由と効果です。実は私たちの地域の世帯の約1割は、独居老人なんです。鹿児島県も日本で5番目ぐらいの高齢者の県ですが、その中でも私たちのまちは、県内でも5位以内に入る高齢者のまちなんです。

ある日、青パトを降りた私たちは、お年寄りを訪問したり、子供たちに声掛けしました。どうなると思います？不審者です。「変なおじさんに声を掛けられました」「変な男が来たけれども、ひょっとしたらオレオレ詐欺じゃないか」と不審者扱いされ、もうやようかと思いましたが、ひらめきました。ピピピピと！「そうだ、日頃からお付き合いをして顔馴染みになれば、こういうことはなくなるだろう」というひらめきから、色々なイベントを考えてお付き合いするようになりました。

特にお年寄りの方、「今はステッキじゃないでしょ。もう一花咲かせましょうよ。」と呼び掛けました。(～手品を実演しながら～)ということで、今は、子供たちに地元の伝説とか、昔遊び、昔語りをしています。これが非常に大好評で、ついには昔語りの本を作りました。これを販売したお金で防犯パトロール手帳を作りました。隊員は現在、このパトロール手帳を持って活動しています。ということで、顔馴染みになると、子供やお年寄りが気軽に声を掛けてくれますし、手を振ってくれます。ですから、不審者扱いが解消されパトロールがとても楽になりました。

続きまして、立哨部隊による活動です。これはどこの地域でも同じでしょうが、学校の先生やスクールガードが立哨部隊を担当しております。毎日顔を合わせて交通整理やあいさつ指導を行っております。ここで、「見守りカメラ」をご紹介します。「子ども見守りカメラ」は、登下校コース、交差点の電柱にカメラを設置しています。これは、伊佐警察署の協力をいただきながら設置しましたが、見守りカメラは近くの店を経営している隊員が監視する仕組みです。非常に珍しいということで新聞にも大きく紹介されました。

立哨隊による活動

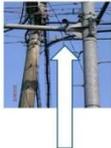
学校の先生や立哨部隊が担当
毎日の登校時



交通整理や
挨拶指導

子ども見守りカメラ

登下校交差点の電柱に見守り
カメラを設置し、近くの隊員(店)
が監視する仕組み



道志継ぐ防犯カメラ



見守りカメラ

新聞にも大きく掲載されました

続きまして、子ども見守り駐在所です。これは、会社やお店の経営者が隊員となって、営業時間中はずっと見守りをしてきているという利点があります。現在は19軒ありますが、近い所では10メートル間隔、遠くても100メートルごとに存在しております。この子供を見守る駐在所には、パトロール隊のマークが貼ってありまして、保護者の送迎の待合場所にも提供されております。

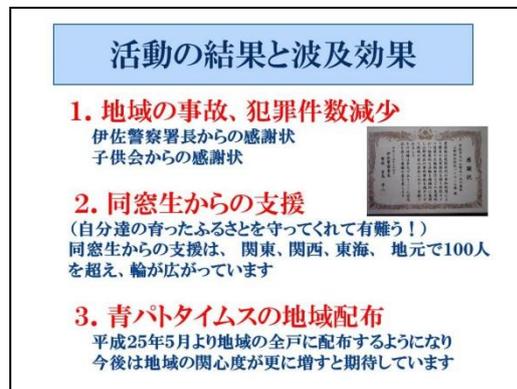


続きまして、我々が発行している「青パトタイムス」という広報紙です。B4判のカラーで、毎月中旬に発行しております。内容は、もちろん活動報告、それから青い回転灯というコーナーがありまして、そこには地域の昔話、歴史、それから、連絡相談、コラム、そういったものを載せております。これによって、隊員とのほうれんそう、報告、連絡、相談が取れると同時に不要な会議を削減しました。



活動の効果と今後の課題

このような活動の結果と波及効果なんです。先ほどのかかしの件を含めまして、あそこでは、その後1件も事故が起きておりません。地域の事故、犯罪を減少させたということで、昨年は伊佐警察署長から感謝状を頂きました。そして、今年の春、子供会が自主的に提案し作成したという感謝状も頂きました。我々、ボランティア活動をしてる人間にとっては、何よりの報酬です。



また、私の同窓生からの支援もありました。我々の活動は、「青パトタイムス」を通じて全国に広がりました。自分たちの育った古里を守ってくれてありがとうと、そういう気持ちの輪が関東、関西、東海、もちろん地元を含めて100人以上の輪が広がっております。「青パトタイムス」の発行を始めて、もう2年になりますから、24号を超えました。面白い、楽しい、うちにも欲しいという話がありまして、いま地域、全国に配られるようになりました。今後ますます、地域の青パトに対する関心度が高まるものと期待しております。

今後の課題

1. 後継者の育成

- (1) 精神的
- (2) 肉体的に健康
- (3) 金銭的健康
- (4) 社会的健康

いずれが欠けても継続はできない…若い人には困難
年寄りも長く活動出来ない
何か魅力ある活動がないと後継者ができない

2. 少子化に伴う学校の統合

2年後の中学校統合が決まっている
小学校の統廃合、少子化で活動範囲が広域化しそう

しかし、いいことばかりでなく、悩みや課題もあります。まず、後継者の育成です。我々ボランティアは、個人の持つ技術、アイデア、時間を無償で提供しています。そこには精神的健康、肉体的健康、金銭的健康、社会的健康が必要であり、このいずれかが欠けても継続は難しいです。特に、今の若い人たちは、子育て生活が中心、優先されますから、なかなか難しいで

す。逆に、お年寄りは肉体的に長く活動することはできません。したがって、何か魅力がある活動がないと後継者が育たないんじゃないかと思ひまして、今日ここに参加しました。よその地域で良きアドバイス、良き案がありましたら、是非、ご指導願いたいと思ひます。

それから、少子化に伴う学校の統廃合があります。昨年小学校が一つ閉校になりました。2年後は中学校の統合が決まっております。小学校も少子化のために統合されるのではないかという話題も出ています。そうなりますと、我々の活動範囲はもっと広くなり、今まで以上の活動が必要になるのではないかと悩んでおります。と言いながらも、やはり、顔馴染みになった地域のお年寄りや子供たちが手を振ってくれる限り、彼らの安全・安心を守るために、また明日から頑張っていこうと思ひています。ありがとうございました。これで発表を終わります。